

統計調査ニュース

平成22年（2010）9月

No.286



国と地域の未来のために — 平成22年国勢調査

総務省統計局長 川崎 茂

国勢調査の調査期日である10月1日を目前に控え、都道府県・市区町村の関係者の皆様や調査員・指導者の皆様におかれては、調査活動でお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今回の国勢調査は、日本の社会が大きく変容しつつある中で、三つの大きな特徴を有しています。

今回の調査の第一の特徴は、日本が本格的な人口減少社会に入っ
て初めて行われるものであること
です。全国的に少子高齢化が進む中、
国と地域の実情を知り、その未来を
考える上では、人口・世帯に関する
最新の統計データは欠かすことが
できません。国勢調査の統計デー
タは、衆議院議員小選挙区の画定、
地方交付税交付額の算定など、公
平で公正な政治・行政を行うため
の基礎として必須のものです。日本
の姿を正確にとらえるため、日本に
住むすべての方々に漏れなく正確
に御回答いただく必要があります。

第二の特徴は、国民の生活様式
やプライバシー意識の変化に対応

して、新たな調査方法を採用したこ
とです。今回の調査では、調査票
は所定の封筒に入れて封をして提
出していただきます。また、調査票
は、郵送で提出することもできます。
さらに、東京都にお住まいの方は、
インターネット回答方式を選択する
こともできます。これは、将来の全
国展開に備えて、東京都において
先行的に導入するものです。

第三の特徴は、調査をより正確
かつ円滑に行うために、様々な新た
な取組を行っていることです。例え
ば、調査票の記入の仕方などに関
する御質問にお答えするために、全
国統一のコールセンターを設置しま
した。また、昨年新たに設けた国勢
調査全国協力者会議に参加してい
ただいている、教育関係、高齢者
福祉関係、在留外国人支援関係、
マンション管理関係など各方面の
多くの方々に御協力を頂いています。

このような新しい調査方法や
様々な取組により、世帯の方々には、
安心して正確な回答を便利な方法
で提出していただけるとともに、調

査に携わるの方々には、調査活動をよ
り円滑に行いやすい環境が整備さ
れています。

日本の国と地域の未来づくりに役
立つ正確で信頼できる統計を得る
ために、総務省自身が全力を挙げ
て取り組むことはもちろんのこと、
都道府県及び市区町村の職員、指
導員、調査員の皆様を始めとする
関係者の方々にも一致協力して取り
組んでいただくことが不可欠です。
全国の調査関係者の皆様におかれ
ては、安全と健康に留意していただ
き、調査に御尽力を賜りますようお
願い申し上げます。

そして、それにも増して、日本に
お住まいのすべての皆様に漏れな
く調査に参加していただくことが欠
かせません。まさに、「国勢調査は
みんなで描く 日本の自画像」^{注)}
です。全国各地にお住まいのすべ
ての皆様には、国勢調査に漏れなく
正確な御回答を御提出いただくよう
お願い申し上げます。

注) 平成22年国勢調査標語
総務大臣賞受賞 山野大輔氏作

目次

国と地域の未来のために - 平成22年国勢調査	1	10月18日は「統計の日」、全国で関連行事が開催されます。	6
平成22年国勢調査の実施に向けて（その18）		10月20日は国連が定めた「世界統計の日」です。	7
- 「平成22年国勢調査」の広報について -	2	国際連合アジア太平洋統計研修所設立40周年記念式典	8
- 国勢調査50日前記念 -		「平成22年度統計指導者講習会」の開催	9
／ - 国勢調査の成功を祈願して -	3	リアル「なるほど統計学園」を開催!	10
平成21年全国消費実態調査		総務省本館に統計局ブース	
主要耐久消費財に関する結果の概要	4	「キミも統計データとふれあおう!」を開設!!	12
個人企業経済調査（構造編）平成21年結果の概要	5	都道府県発とうけい通信	13

平成22年国勢調査の実施に向けて（その18）

－「平成22年国勢調査」の広報について－

平成22年国勢調査の広報の一環として、「お台場合衆国2010」で開催したイベント等を紹介します。

平成22年8月21日（土）午後、お台場合衆国2010ベケボン×ステージで、国勢調査の広報大使である高見侑里さんとセンサスくんが出演し、クイズ大会「知っとく！なっとく！みんなで知ろう！国勢調査」が開催されました。

クイズ大会には、多くの方が足を止めて、国勢調査に関するクイズに挑戦していました。



このイベントは、クイズを通して、楽しく国勢調査のことを知っていただくために企画されたものです。

クイズの正解者には、高見さんからセンサスくんのぬいぐるみがプレゼントされました。

クイズとして、センサスくんの年齢や国勢調査から分かることなどが出題されました。その中の一つを紹介します。

クイズ

平成17年国勢調査の結果で日本で一番人口の多かった都道府県は、東京都でしたが、反対に一番人口が少なかった県はどこでしょうか。

①鳥取県 ②青森県 ③長野県 ④埼玉



フジテレビの報道番組で国勢調査ブースが紹介されました。

広報大使のパトリック・ハーランさんは、以前から数字に興味があったそうです。今回、国勢調査の広報大使になり、ますます統計調査の結果数値やグラフが好きになったそうで、いつも持ち歩くバッグに統計局で発行した冊子を入れています。



国勢調査については、平成22年国勢調査広報サイトをご覧ください。

- * 国勢調査キャンペーンサイト → <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/special/index.htm>
- * 国勢調査 e-ガイド → <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

— 国勢調査 50 日前記念 —

国勢調査の実施まで50日となった8月12日(木)に、センサスくんがお台場で開設している国勢調査ブース前で広報活動を行いましたので紹介します。

時折、小雨交じりの強い風が吹く中でしたが、夏休み期間中ということもあり、大勢の方が国勢調査ブースに来られました。国勢統計課職員が入ったセンサスくんも、とても暑い中、国勢調査の重要性をアピールしました。



外国人の方にも「かわいい!!」と大人気!!

「国勢調査まで あと50日」のプラカードを持ってPRを行ったり、家族連れや子どもたちと握手して積極的に広報活動を行うセンサスくん



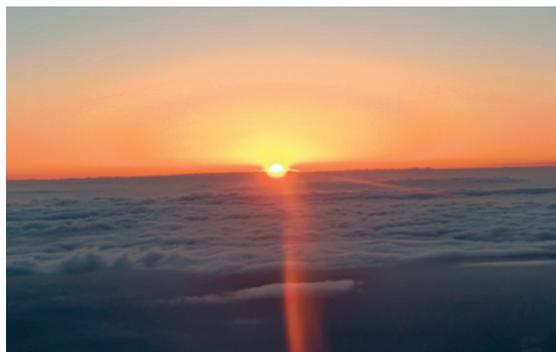
— 国勢調査の成功を祈願して —

8月19日、20日に国勢調査の成功祈願のため、富士登山に行ってきました。

初めての登山というだけでなく、出発の10日前に軽いぎっくり腰になり、1年半前にじん帯を損傷した右足首まで痛み出すという、不安だらけの挑戦となりました。

19日は五合目から山小屋がある八合目まで歩き、食事と仮眠を取った後、御来光を見るために夜10時半に山小屋を出発。岩場で苦戦していると辺りから霧が立ちこめ、本八合目の富士山ホテルに着いたころから雨が降り出しました。ようやく頂上にたどり着いた途端、登山ガイドから、御来光は望めないので少し休憩してすぐ下山するという説明があり、がく然としながら空を見上げていたところ、不思議なことに頭上から雲が消え始めたのです。奇跡的ともいえる満天の星を見上げながら、国勢調査の成功を確信しました。

富士山頂上浅間大社でセンサスくんと一緒に国勢調査が無事に実施されることを祈願した後、寒さの中を待つこと数十分。雲海から朝日が昇るとともに暖かさが伝わってきて、太陽の有り難みを実感した初登山となりました。(広報担当C. K)



御来光に浮かび上がるセンサスくんのシルエット



富士山頂上浅間大社で祈願したセンサスくん

平成21年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果の概要

全国消費実態調査は、国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和34年の第1回調査以来5年ごとに実施しており、平成21年調査は、その11回目に当たります。本年7月に、集計事項のうち主要耐久消費財の所有状況をまとめた結果を公表しましたので、その概要を紹介いたします。

【二人以上の世帯】

所有数量が最も多いのはルームエアコン

主要耐久消費財の1000世帯当たりの所有数量（以下「所有数量」という。）についてみると、ルームエアコン（2,478台）が最も多く、次いで携帯電話^注（2,131台）となっており、これらの耐久消費財は1世帯平均2台以上を所有していることとなります。以下、整理だんす（1,790台）、洋服だんす（1,494台）、自動車（1,414台）などとなっています。

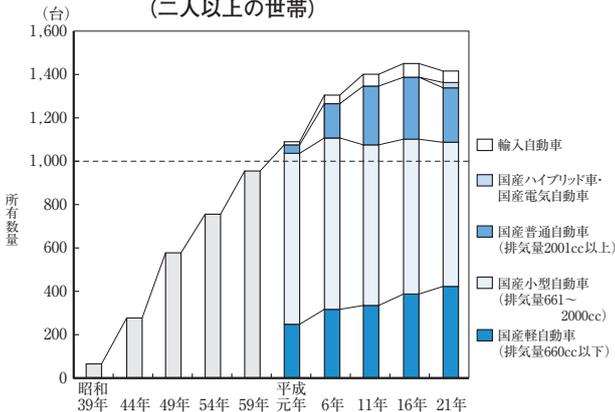
注）PHSを含む。以下同じ。

所有数量が調査開始以降初めて減少した自動車

自動車の所有数量は1,414台（普及率^注 85.5%）で、このうち、小型自動車（排気量661～2000cc）が668台と最も多く、新たに調査したハイブリッド車・電気自動車は19台となっています。平成16年と比べると所有数量は2.2%減少しており、昭和39年に調査項目として以降初めての減少となりました。（図1）

注）当該耐久消費財を所有している世帯の割合

図1 自動車の1000世帯当たり所有数量の推移（二人以上の世帯）

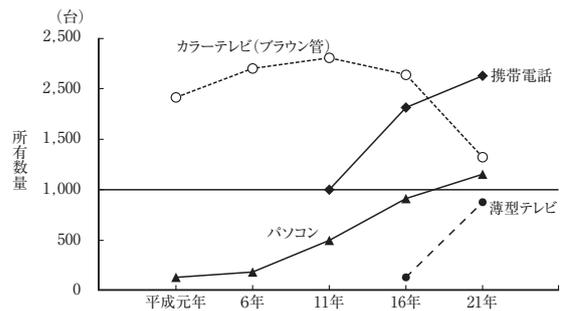


所有数量が増加した携帯電話、パソコン及び薄型テレビ

携帯電話、パソコン及びテレビの所有数量をみると、薄型テレビが平成16年の115台から21年には865台と約7.5倍（652.2%）の増加となりました。

携帯電話は、平成16年の1,823台から21年には2,131台と16.9%の増加、パソコンは16年の999台から21年には1,157台と15.8%の増加となりました。（図2）

図2 携帯電話、パソコン及びテレビの1000世帯当たり所有数量の推移（二人以上の世帯）



【単身世帯】

所有数量が最も多いのは、若年単身世帯では携帯電話、高齢単身世帯ではルームエアコン

30歳未満の単身世帯（若年単身世帯）の耐久消費財の所有数量を男女別にみると、男女共に携帯電話の所有数量が最も多くなっています。

一方、65歳以上の単身世帯（高齢単身世帯）では、男女共にルームエアコンの所有数量が最も多くなっています。（表）

表 男女別1000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量及び普及率（単身世帯）

	性別	品目	所有数量(台)	普及率(%)
若年単身世帯	男	携帯電話	1,027	94.2
		冷蔵庫	920	91.9
		電子レンジ(電子オープンレンジを含む)	876	86.7
	女	パソコン	870	70.8
		洗濯機	834	83.4
		携帯電話	1,012	94.4
高齢単身世帯	男	冷蔵庫	968	96.6
		電子レンジ(電子オープンレンジを含む)	967	94.9
		洗濯機	897	89.4
	女	電気掃除機	839	82.6
		ルームエアコン	1,526	75.8
		茶だんす・食器戸棚	1,234	87.4
若年単身世帯	男	電気掃除機	1,162	93.2
		洋服だんす(作り付けを除く)	1,099	77.6
		整理だんす(作り付けを除く)	1,076	67.8
	女	ルームエアコン	1,738	82.0
		茶だんす・食器戸棚	1,445	93.3
		整理だんす(作り付けを除く)	1,344	81.4
高齢単身世帯	電気掃除機	1,229	97.7	
	和だんす(作り付けを除く)	1,226	81.9	

【今後の公表予定】

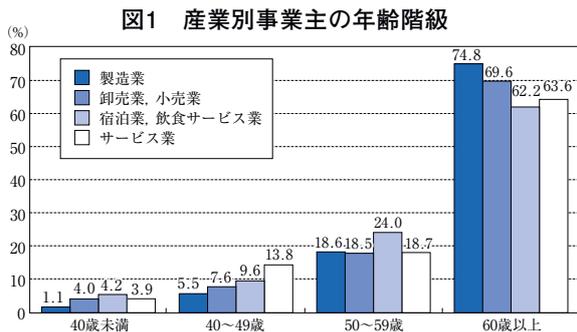
- 平成22年9月 単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果
- 平成22年12月 二人以上の世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果
- 平成23年3月 家計資産に関する結果
- 平成23年10月 各種係数及び所得分布に関する結果

個人企業経済調査(構造編)平成21年結果の概要

個人企業経済調査(構造編)の平成21年結果を平成22年7月12日に公表しましたので、その概要を紹介します。

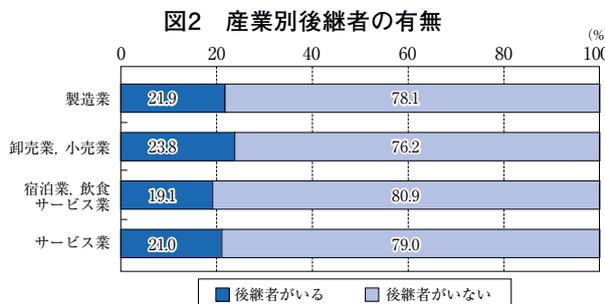
1 事業主の年齢

事業主の年齢が60歳以上の事業所の割合は、製造業が74.8%、卸売業、小売業が69.6%、宿泊業、飲食サービス業が62.2%、サービス業が63.6%となり、40歳未満の事業所の割合は、製造業が1.1%、卸売業、小売業が4.0%、宿泊業、飲食サービス業が4.2%、サービス業が3.9%となりました。



2 後継者の有無

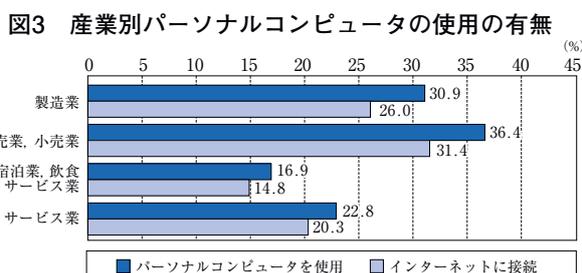
後継者がいるとした事業所の割合は、製造業が21.9%、卸売業、小売業が23.8%、宿泊業、飲食サービス業が19.1%、サービス業が21.0%となりました。



3 パーソナルコンピュータの使用の有無

パーソナルコンピュータを事業で使用している事業所の割合は、製造業が30.9%、卸売業、小売業が36.4%、宿泊業、飲食サービス業が16.9%、サービス業が22.8%となりました。

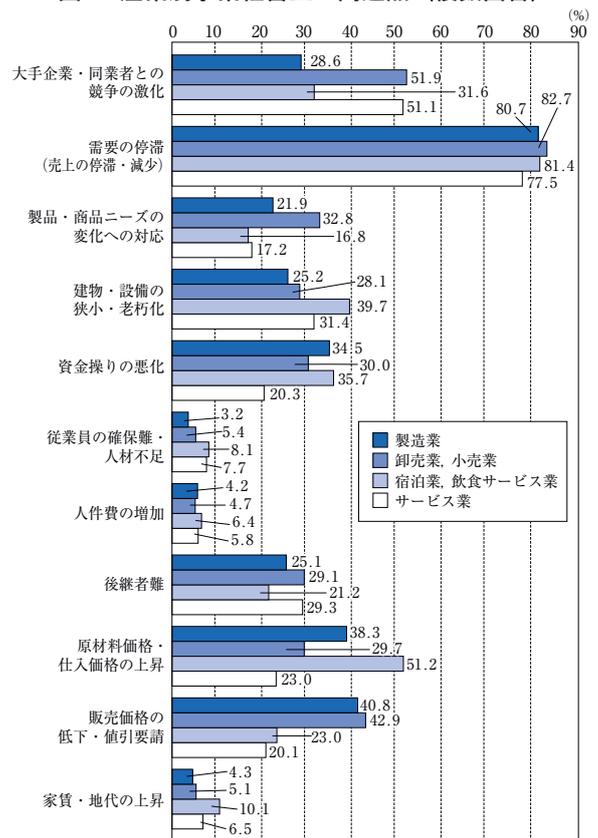
また、インターネットに接続しているパーソナルコンピュータを事業で使用している事業所の割合は、製造業が26.0%、卸売業、小売業が31.4%、宿泊業、飲食サービス業が14.8%、サービス業が20.3%となりました。



4 事業経営上の問題点

事業経営上の問題点として設定している11項目(複数回答)について最も多く挙げているのは、製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業いずれも「需要の停滞(売上の停滞・減少)」でそれぞれ80.7%、82.7%、81.4%、77.5%となっており、次に多く挙げているのは、製造業が「販売価格の低下・値引要請」で40.8%、卸売業、小売業及びサービス業が「大手企業・同業者との競争の激化」でそれぞれ51.9%、51.1%、31.6%、80.7%、82.7%となっており、次に多く挙げているのは、製造業が「原材料価格・仕入価格の上昇」で51.2%となりました。また、その次に多く挙げているのは、製造業が「原材料価格・仕入価格の上昇」で38.3%、卸売業、小売業が「販売価格の低下・値引要請」で42.9%、宿泊業、飲食サービス業及びサービス業が「建物・設備の狭小・老朽化」でそれぞれ39.7%、31.4%となりました。

図4 産業別事業経営上の問題点(複数回答)



ここに掲載する内容以外の結果「個人企業経済調査(構造編)平成21年結果」については、次のURLからダウンロードできます。
<http://www.stat.go.jp/data/kojinke/sokuhou/nen/pdf/gaiyou.pdf>

10月18日は「統計の日」、全国で関連行事が開催されます。

我が国で最初の近代的生産統計「府県物産表」に関する太政官布告が公布された明治3年9月24日を太陽暦に換算した10月18日を「統計の日」としています。

これは、統計の重要性に対する関心を深め、統計調査に対して、国民の皆様からより一層の理解がいただけるようにと、昭和48年7月3日の閣議了解で定められました。

総務省政策統括官（統計基準担当）では、関係府省、地方公共団体等と連携し、この「統計の日」を中心として、国民の皆様には統計の重要性や統計調査への理解を訴えるための行事を実施します。

【統計データ・グラフフェア】

東京都新宿区の「新宿駅西口広場イベントコーナー」において平成22年10月23日（土）、24日（日）の2日間開催します。

総務省が後援している統計グラフ全国コンクールの入選作品等を展示するほか、政府が実施する各種統計調査の紹介、各種統計関係資料の展示、インターネットを用いた統計情報の提供のデモ等を実施する予定です。（総務省、東京都及び（財）統計情報研究開発センター主催、入場無料）

【第60回全国統計大会】

全国統計大会は、国、都道府県、市区町村、統計調査員、統計グラフコンクール関係者及び統計関係団体等の統計関係者が一堂に会して、我が国の統計の改善・発達に貢献した方に対する大内賞の授与のほか、統計功労者に対する各省大臣表彰、統計グラフ全国コンクール特選受賞者に対する総務大臣特別賞の授与等を行うものです。

第60回目を迎える今年度は、平成23年2月2日（水）に、九段会館大ホール（東京都千代田区）において開催します。（総務省、都道府県統計連絡協議会及び（財）統計情報研究開発センター主催、入場無料）

【統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示】

第58回統計グラフ全国コンクール入賞作品の展示会を、上記のとおり、平成23年2月2日（水）に開催される第60回全国統計大会の会場（九段会館大ホール）ロビーにて開催します。（入場無料）

【地方公共団体等主催の行事】

（地方統計大会・統計功労者表彰式）

各地で地方統計大会や統計功労者表彰式が開催さ

れ、統計功労者・統計グラフコンクール入選者等の表彰及び講演会等が実施されます。

（統計グラフコンクール入選作品展示会）

各都道府県の統計グラフコンクール入選作品の展示会が開催されます。

（統計データフェア）

統計調査の仕組みや調査結果のパネル展示等を行う統計データフェアや統計教室などが開催されます。

【平成22年度「統計の日」ポスター】

「統計の日」の周知を図り、統計への関心を深めてもらうため、「統計の日」のポスターを作成し、配布しています。今年度も6万枚作成し、各府省、都道府県及び市区町村の庁舎等のほか、公民館等の公共施設に掲示していただきます。

ポスターに使用する標語は、毎年募集することとしており、平成22年度は、各府省、都道府県及び市区町村の職員並びに全国の統計調査員の方々からお寄せいただいた3,538作品の中から審査の結果、岐阜県岐阜市の統計調査員である後藤カヨ子さんの作品「この国の確かな選択 支える統計」を特選とし、ポスターに使用することに決定しました。

なお、「統計の日」のポスターのデザインやポスターに使用している標語は、各府省や地方公共団体において、統計や統計調査に係る知識の普及を目的とした広報物、刊行物等に使用されるほか、日常使用している封筒等にも印刷されるなど、幅広く使用される予定です。



平成22年度「統計の日」ポスター

10月20日は国連が定めた「世界統計の日」です。

2010年6月の国連総会で、今年の10月20日を「世界統計の日」とすることが採択されました。我が国の統計の日(10月18日)は1973(昭和48)年に定められましたが、世界共通の統計の日が設けられたのは初めてのことです。



国連公式ポスター(日本語仮訳)

○なぜ、世界統計の日を定めたのでしょうか？

国勢調査を始めとする公的統計は国連等で定めた世界標準で作成されています。グローバル化時代においては、国際比較可能な信頼できる公的統計データの必要性が増えています。信頼できる統計データ作成には、人々の協力が欠かせないことから、国内のみならず国際レベルで公的統計の意義を理解してもらうため、世界共通の統計の日を設けることになりました。

○なぜ、2010年10月20日なのでしょう？

現在「2010年ラウンド世界人口・住宅センサス計画」が世界223の国と地域で実施されています。国連主導で世界統計の日を周知することにより、公的統計の意義を認識してもらい、センサスへの理解が得られることが期待されています。

また、英語でこの日を表記すると20(日)10(月)2010年で、覚えやすい数字となっています。

○何をなのでしょう？

国際機関や各国政府が公的統計の広報イベントを実施することとなっています。国連の世界統計の日サイト

(<http://unstats.un.org/unsd/wsd/>)では、世界中の活動をみることができます。

世界統計の日は今年限りの記念日ですが、来年2月に開催される国連統計委員会では、国際機関や各国統計局が統計の日に行った実績を報告し、その結果により今後とも継続して実施する可能性もあります。

○我が国の取組

1) ホームページにおける紹介

総務省統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所のホームページに、我が国における世界統計の日の情報を掲載するページを開設し、随時活動状況を掲載していくこととしました(<http://www.stat.go.jp/info/meetings/index.htm>)。このページにはトップページに掲載した世界統計の日のロゴから入ることができます。

2) イベント等における展示

- ・統計資料館における国連の世界統計の日公式ポスター(国連公用6か国語)展示(5月から12月まで)



- ・子ども霞が関見学デー 世界統計の日のポスター展示(8月18日, 19日)
- ・総務省第二庁舎正面玄関のプラズマビジョン掲示(8月末から10月末まで)
- ・統計データ・グラフフェア 世界統計の日コーナー特設(10月23日, 24日)
- * 国連広報センターの協力による国連統計紹介も予定

また、都道府県でも、統計パネル展における国連ポスターの展示や統計調査員の研修教材の中で紹介し、国際社会における統計の重要性を理解してもらうよう独自の取組を行っていただいています。

総務省政策統括官(統計基準担当)では、10月20日に向けて、更に広報活動を行っていく予定です。

国際連合アジア太平洋統計研修所設立40周年記念式典

はじめに

国際連合アジア太平洋統計研修所（S I A P）（<http://www.unsiap.or.jp/>）は、アジア太平洋地域の開発途上国の政府統計職員に対する統計研修の実施を目的として、昭和45年（1970年）に国際連合が設立した世界で唯一の研修専門機関です。S I A Pは、これまでに124か国約1万2千人の開発途上国の政府統計職員に対し、研修を実施し、多くの各国統計部局幹部職員を輩出しており、現職では、カンボジア、マレーシア、ネパール、フィリピン、タイの国家統計局長等がS I A Pの卒業生です。

日本国政府（総務省）は、招請国として「アジア太平洋統計研修所に関する日本国政府と国際連合との間の協定」に基づき、研修所の運営を支援するため、財政的支援及び現物（事務所、備品、施設等）の提供を行っています。

本年は、S I A P設立40周年に当たり、S I A Pの実績や今後果たすべき重要性等に対する内外の幅広い理解を得る趣旨の下に、記念式典が開催されましたので、その概要を紹介します。

記念式典

記念式典は、平成22年8月31日に国際連合大学を会場として開催され、アフガニスタン、オーストラリア、中国、インド、インドネシア、イラン、日本、ニュージーランド、フィリピン、韓国、ロシア、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム等のアジア太平洋地域の30か国・地域の統計部局長等を始め、国際連合本部、国際通貨基金、アジア開発銀行等の12国際機関、在京大使館、統計委員会委員、府省統計部局関係者等の約150人が参加しました。

式典では、S I A Pの紹介ビデオ放映の後、主催者であるMs. Davaasuren Chultemjamts（ダバスーレン・チュルテムジャム）S I A P所長から、冒頭、日本国政府総務省等のS I A Pに対する支援を感謝する旨の発言がありました。さらに、あいさつの中で、S I A Pは、今後更に質の高い統計研修の実施に努めるとともに、官庁統計の発展のための統計研修のネットワークセンターとしての機能を果たしていきたいとの話がありました。

また、来賓として臨席された原口一博総務大臣から英語による御祝辞を頂きました。大臣は、S I A Pの役割の重要性及びこれまでの実績を高く評価するとともに、初代太政官統計院長（国家中央統計局長）大隈重信侯の言葉を引用され、施政を行う上での統計の大切さに触れ、各国の更なる協力、連帯の必要性につい

て述べられました。

このほか、Mr. Paul Cheung（ポール・チャン）国際連合本部統計部長、S I A Pの卒業生を代表して



原口総務大臣祝辞

Ms. Carmelita N. Ericta（カルメリータ・エヌ・エリクタ）フィリピン国家統計局長等からの祝辞があり、式典は閉会となりました。

国際連合アジア太平洋統計研修所 設立40周年記念式典次第

開 会

国際連合アジア太平洋統計研修所（SIAP）の紹介（ビデオ）

あいさつ S I A P所長

Ms. Davaasuren Chultemjamts

祝 辞 国際連合本部統計部長

Mr. Paul Cheung

総務大臣 原口一博

外務大臣（代読 須永和男国際協力局審議官）

国際協力機構理事長（代読 橋本栄治理事）

SIAP卒業生代表 フィリピン国家統計局長

Ms. Carmelita N. Ericta

閉 会



式典の様子

なお、記念式典に関連する行事として、8月31日から9月2日まで統計職員の能力開発に係る国家統計局の役割等に関するセミナーが実施されました。

「平成22年度統計指導者講習会」の開催

統計指導者講習会とは

総務省政策統括官(統計基準担当)では、児童生徒が統計に親しみ、その大切さを理解できるようにするためには、まず指導者である教師が統計の役割とその重要性を理解し、その利活用方法を習得することが必要であるとの観点から、統計指導者講習会を平成3年度から開催しています。

平成22年度統計指導者講習会の概要

今年度の統計指導者講習会は、7月26日(月)、27日(火)の2日間、総務省第2庁舎で開催し、全国から小・中学校及び高等学校の教師等81名が参加しました。その概要を紹介します。

<7月26日(月)(第1日目)>

1 基調講義：「統計教育の意義」(講師：東洋大学経済学部教授 渡辺 美智子 氏)

本講義では、統計教育の普及に長年取り組んでいる渡辺教授から、「知識基盤社会」の時代を迎える中、我が国において統計教育を行う意義について、新学習指導要領における位置付け、諸外国における実践との比較や実践事例、また、統計教育を実践する際に参考となるような教材サイトの紹介等を交えつつ、説明していただきました。

2 講義：「公的統計の役割と統計調査」(講師：総務省政策統括官(統計基準担当)付統計企画管理官室 浜東 一彦 調査官)

本講義では、我が国の統計制度を所管する立場から、公的統計が社会に果たす役割とその重要性、また、公的統計を作成する際の調査の仕組み等について説明していただきました。

3 実践事例報告

受講者に統計教育に関する実践的・具体的な知識及び情報の習得を図ってもらうため、小学校、中学校及び高等学校の教師各1名に、「実践事例報告」として、統計教育の実践経験を報告いただきました。

(1) 小学校実践事例報告(講師：千葉県いすみ市立中根小学校教頭 植草 佳代子 氏)

小学1年生の生活科におけるアサガオ観察の単元の中で、統計的探求プロセスを活用し、情報の適切な選択・処理・活用の仕方を学習することを目的とした指導の実践事例について御報告いただきました。

(2) 中学校実践事例報告(講師：愛知県稲沢市立治郎

丸中学校教諭 日比 智久 氏)

中学2年生の総合学習における職場体験学習において、職場調べと事前訪問の際に統計的手法を用いて、意欲的に学習に取り組ませることを目的とした指導の実践事例について御報告いただきました。

(3) 高等学校実践事例報告(講師：愛知県立半田高等学校教諭 菅野 栄光 氏)

今後、数列理論を学習する前段階の高校1年生に対して相関係数について指導することを想定し、統計局ホームページから入手できる統計の都道府県別データを活用した授業モデルの紹介とその実践について御報告いただきました。

4 実践講習(講師：広島大学附属中・高等学校教諭 富永 和宏 氏)

統計局の小売物価統計のデータを活用して、お好み焼きの具材の価格を題材とした授業モデルを紹介していただき、受講者にグラフ作成の実習を行ってもらいながら、実態把握及び考察への展開について講習を行っていただきました。

<7月27日(火)(第2日目)>

5 講義：「政府統計の総合窓口(e-Stat)及び統計教育サイトについて」(講師：総務省統計局統計情報システム課 三上 明輝 課長、石澤 隆嗣 最適化調整係長)

政府統計の総合窓口(e-Stat)及び統計局等ホームページ内の統計学習サイト「なるほど統計学園」について、その概要及び利活用方法に関して説明していただきました。

6 班別討議

講義、実践事例報告及び実践講習を踏まえ、受講者を校種別に9班(1班8～10名)に分け、統計教育を実践する際の課題と解決方法、統計教育の効果的な実践例や工夫している点などについて、意見交換を実施しました。

7 班別討議結果発表

上記の班別討議の結果概要について、各班の代表者から発表が行われました。

平成22年度統計指導者講習会を終えて

今回の講習会では、実際の教育現場で統計教育を実践する際の参考としていただけるようなカリキュラム編成を目指しました。受講者の方のアンケートを参考に、今後とも講習内容の充実を図っていきたく考えています。

★なるほど統計学園

リアル「なるほど統計学園」を開催！

8月6日、総務省統計局では、子ども見学デーの関連イベントとして、小学校高学年～中学生を対象に“リアル「なるほど統計学園」”を開催しました。参加者は、新しくなった統計学習サイト「なるほど統計学園」を通じて統計について学習したり、施設見学等を行いました。

夏休みの子どもたちを対象にした“リアル「なるほど統計学園」”は、「子ども見学デー」の関連行事として今回初めて行いました。「子ども見学デー」は、府省庁等が連携して、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的として開催されているものです。

“リアル「なるほど統計学園」”は、統計がどのよ

うに社会に役立っているか、統計調査がどのように行われているのか等をより深く知ってもらうとともに、統計を正しく読み解くことの大切さを訴え、夏休みの自由研究へのヒントや統計の歴史に触れる機会を提供することをねらいにしたもので、開催当日は12名の小・中学生が統計局を訪れ「なるほど統計学園」のサイトも使いながら、3時間弱にわたって体験学習を行いました。

【なるほど統計学習】

今年行われたサッカーワールドカップのデータを例にしながら、統計グラフ作成ソフトを使ったグラフの作り方を体験しました。同じデータでもグラフの種類によって受ける印象が違ふこと、目的によって向き不向きがあることを学びました。パソコンの使い方に慣れていないお子さんもいましたが、周りの職員の説明を聞きながら真剣に作成していました。また、今年実施される国勢調査の調査票（見本）を使い、調査票への記入を体験しました。



▲ パソコンを使用したグラフ作成体験

【施設見学（統計資料館）】

日本でただ一つの統計専門の資料館である統計資料館で、国勢調査の歴代ポスターや集計機器等を見学しながら、統計調査の歴史、人口ピラミッドの形の移り変わり等について説明を受けました。また、古い手回し式の計算機の使い方体験では、全員が順番に操作を行い、現在の電卓との違いを体験しました。



▲ 手回し式計算機体験



▲ 湯井館長による資料館の説明

【施設見学（調査票保管庫）】

監視カメラや顔認証システムで厳重なセキュリティが保たれている保管庫内の一部を特別に見学しました。保管庫に保管されている調査票は、最後はドロドロに溶かして再生紙にされるという説明も受けました。

【施設見学（OCR室）】

今年7月に導入されたばかりの最新のOCR機（光学式文字読取装置）を使い、なるほど統計学習で記入したそれぞれの調査票を読み取るデモを行いました。A4サイズの調査票両面を同時に1分間に500枚も読み取ることができるスピードに、子どもたちは目を丸くしていました。それだけのスピードで読み込んでも、日本に住んでいるすべての人が対象になる国勢調査では、すべての調査票を読み込むのに、この機械4台を1日7時間動かして、約6か月必要になるという説明も受けました。

【統計局長と話そう】

川崎統計局長の部屋を訪問して、全国の子どもたちが書いた国勢調査のポスターやこの秋に放送予定のテレビコマーシャルを見たり、全国から集まる国勢調査の調査票を全部積み上げると東京スカイツリー（完成時634m）の15倍の高さにもなるといった話を聞いたりしました。「どうしてセンサスくんは赤ちゃんなんですか？」という質問に、「センサスくんは実は20歳」（注：平成2年国勢調査の際にマスコットとして制定）と聞かされ、局長室に驚きと笑いが広がる場面もありました。懇談の最後には、統計局長から「なるほど統計学園」学園長名のマスター認定証が参加者全員に一人ずつ手渡されました。

イベント終了後のアンケートでは、参加者から「ためになった」、「昔の計算機がおもしろかった」、「本当に統計学園の生徒になったような気分でもっとうれしかった」、「もっと多くの人達にこのようなイベントがあることを分かるようにした方がよい」といった感想・意見が寄せられました。



▲ 最新式のOCR機の前で



▲ 局長との懇談



▲ 局長を囲んで（参加者集合写真1）



▲ 局長を囲んで（参加者集合写真2）



▲ スタンプラリー



▲ マスター認定証

総務省本館に統計局ブース 「キミも統計データとふれあおう！」を開設!!

8月18日、19日に、全国の小中学生を対象とした、子ども霞が関見学デーが実施され、総務省本館において統計局ブースを開設し、パソコンを使った体験コーナーやスタンプラリーの設置などをしましたので、その概要を紹介します。

今年も、総務省本館において、統計局ブース「キミも統計データとふれあおう！」を開設し、パソコンを使った「なるほど統計学園」の体験コーナー、国勢調査広報ビデオ「知れば納得!クイズ・ザ・国勢調査」の放映、最新の調査結果を使った「統計データ展示」、そして国勢調査のイメージキャラクター「センサスくん」との記念撮影を行うなど、両日合わせて、約1,100名の参加がありました。

体験コーナーでは、統計学習サイトの「なるほど統計学園」を体験できるコーナーを設置し、統計学園クイズやあなたの地元が日本一!などを、親子で楽しむ姿が見られました。

展示してある「ぎょうごの消費量」の統計データを見ながら「やっぱり宇都宮なんだ」と納得する方や子どもの宿題に家計調査のデータを利用したいなどの声もありました。今年が国勢調査の実施年と御存じの方も多くいました。

また、センサスくんは1日6～7回会場に登場し、参加者と記念撮影や握手をしました。デンパ君、消太くんに引けを取らない人気ぶりで、見付けられると、すぐに子どもたちに囲まれていました。



親子で「なるほど統計学園」を体験



人気者のセンサスくん



統計局ブースでスタンプラリーに参加する子どもたち

参加者の皆様にとって、このイベントが楽しみながら「統計データにふれていただく」機会になったと思います。

統計局は、8度目の実施でしたが、事故もなく無事に終えることができました。

御参加いただいた方々に心から御礼申し上げます。

* 当日の様子は、統計局ホームページ「なるほど統計学園」に掲載されております。御覧ください。

<http://www.stat.go.jp/naruhodo/c2kodomo.htm>

都道府県発とうけい通信②

統計から見た大阪の魅力

大阪府総務部統計課

関西地方では、「平城遷都1300年祭」の開催などに伴い、四季を通じて数多くの観光客が訪れています。

また、更に関西地方を満喫したい観光客は、交通網の発達により、比較的短時間で近隣府県を訪問できることから、観光名所やUSJを始めとするエンターテインメント施設を訪れるために関西地方の複数府県にわたって訪問することが多くなっています。

平成20年大阪府観光統計調査によると、大阪府に年間1億4362万人の観光客が訪れ、そのうち府外からの観光客は、6318万人に上っています。



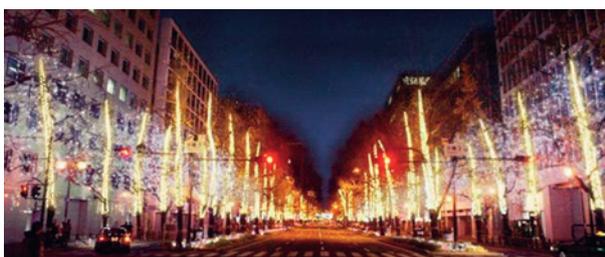
観光客が、大阪府を訪れる窓口の一つに大阪空港があります。大阪空港から各地に向かう交通手段として、平成9年に大阪空港から門真市間21.2kmを開通したことにより、東京モノレールを抜いて、日本一、世界一の長さとなった大阪モノレールが走っています。

このモノレールや私鉄・地下鉄を乗り継いで大阪各地に赴くと、ふるさと納税ナンバーワンを掲げる大阪府が、その寄付金により行った様々な事業を楽しむことができます。

平成20年、出身地だけでなく「お世話になったふるさと」や「これから応援したいふるさと」など各自が思う「ふるさと」に納税することができる「ふるさと納税」制度が始まりました。

大阪府では、様々な分野で活躍されている著名人を始め、多くの方々に納税していただき、制度がスタートして丸1年、受付が行なわれた平成21年度は、約1億1700万円超の納税を獲得し、全国でナンバーワンとなりました。

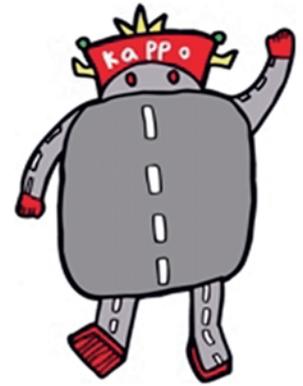
この多くの方々に頂いた寄付金を元に、「大阪ミュージアム構想」を展開しています。



御堂筋イルミネーションの様子

春には、生駒山系で花屏風を楽しみ、夏には大阪の歴史的な町並みや自然、緑を堪能し、秋には御堂筋kappo、冬には御堂筋イルミネーションを楽しむことができます。

大阪の街並みを歩いていくと、大阪名物「たこ焼き屋さん」をあちらこちらで見掛けることができます。

「御堂筋kappo」
イメージキャラクター「カッポ」

総務省の家計調査の結果を基に発行された「家計簿からみたファミリーライフ」には、平成18～20年平均の品目別「年間購入量」又は「年間支出金額」が全国で上位（**太字**は1位）である主な品目について、都道府県庁所在市別（川崎市及び北九州市を含む。）にまとめたものがあり、それぞれの地域の特徴が表れています。

この統計結果によると、大阪は、「たこ」の購入量又は支出金額が全国で第1位となり、大阪府民の「たこ焼き」好きがよく表れています。

都道府県庁 所在市	品 目
大阪市	たこ、はくさい、ねぎ、マーガリン

（総務省統計局発行「家計簿からみたファミリーライフ」抜粋）

正確な統計結果を示すことで、地方の特色や長所などが顕著に現れ、興味深い内容を的確に示すことができます。

※大阪府の統計情報・平成22年国勢調査の広報活動状況については、下記のURLで参照できます。

<http://www.pref.osaka.jp/toukei/top/index.html>（統計情報）

<http://www.pref.osaka.jp/toukei/top/kokuchou10.html>（国勢調査）

また、これらの統計結果を国民の皆様に還元し、御利用いただくことで、地域の活性化につながります。その地域を訪れてみたいと思うことで、気持ちにゆとりを、訪れる人が増えることで、その地域に活力を与えることができます。

このように、統計結果が社会全体に大きな役割を果たしていることを念頭において、私たち統計職員は、より国民生活に役立つ正確な統計結果を提供することができるよう、更に寄与してまいりたいと考えております。

最近の数字

	人口		労働・賃金			産 業		家 計(二人以上の世帯)		物 価		
	総人口 (推計人口)	就業者数	完全失業率 (季調済)	現金給与総額 (規模30人以上)	鉱工業 生産指数 (季調済)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数		国内企業 物価指数	
	千人(Pは万人)	万人	%	円	H17=100	兆円	円	円	全 国	東京都区部	H17=100	
実 数	H22. 3	127427	6210	5.0	307,518	94.8	27.3	319,991	362,466	99.6	99.0	102.6
	4	P12739	6269	5.1	307,390	96.0	P23.2	299,996	383,980	99.6	99.2	103.0
	5	P12736	6295	5.2	298,267	96.1	P22.3	280,714	320,542	99.7	99.1	103.2
	6	P12738	6280	5.3	530,947	95.0	P23.4	276,494	599,669	99.7	99.1	102.8
	7	P12742	6271	5.2	P 415,031	P 95.3	...	285,274	463,447	99.2	98.5	P 102.7
	8	P12739	P 98.9	...
前年 同月比	H22. 3	-	-0.6	* 0.1	2.0	* 1.2	-1.9	4.4	0.3	-1.1	-1.7	-1.3
	4	-	-0.8	* 0.1	2.8	* 1.3	P-1.5	-0.7	0.8	-1.2	-1.5	-0.2
	5	-	-0.7	* 0.1	0.5	* 0.1	P-3.4	-0.7	-5.3	-0.9	-1.4	0.4
	6	-	-0.3	* 0.1	3.4	* -1.1	P-3.1	0.5	7.4	-0.7	-1.0	0.4
	7	-	0.0	* -0.1	P 2.3	* P 0.3	-	1.1	-0.3	-0.9	-1.2	P -0.1

注) P:速報値 * :前月比
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

掲示板 統計局・政策統括官(統計基準担当)・統計研修所の主要行事日程(2010年9月~10月)

時 期	行 事 等 の 概 要	時 期	行 事 等 の 概 要
9月1日	統計研修 特別講座「統計調査基礎課程<基礎>」(9月通信研修)開講(〜22日)	6日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年8月分速報)公表
2日	統計研修 本科開講(〜12月8日)	〃	統計研修 特別講座「地域分析とGIS(地理情報システム)入門」開講(〜8日)
3日	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年7月分速報)公表	7日	「PSI年報(2011)」刊行
〃	小売物価統計調査(自動車ガソリン:平成22年8月分)公表	8日	小売物価統計調査(自動車ガソリン:平成22年9月分)公表
6日	統計研修 専科「国民・県民経済計算」開講(〜10日)	15日	家計調査(家計消費指数:平成22年8月分)公表
10日	家計調査(家計消費指数:平成22年7月分)公表	〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年8月分確報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:平成22年7月分確報)公表	18日	統計研修 専科「PCを用いた統計入門」開講(〜22日)
〃	平成20年住宅・土地統計調査追加集計	20日	人口推計(平成22年5月1日現在確定値及び平成22年10月1日現在概算値)公表
〃	統計トピックス「統計からみた我が国の住宅」	21日	総合統計データ月報(10月更新分)
13日	統計研修 専科「産業連関表の構造と分析」開講(〜17日)	22日	第39回統計委員会
15日	総合統計データ月報(9月更新分)	25日	統計研修 専科「PCを用いた統計分析」開講(〜29日)
17日	第38回統計委員会	26日	「PSI月報(10月)」刊行
19日	統計トピックス「統計からみた我が国の高齢者 -「敬老の日」にちなんで-」	28日	住民基本台帳人口移動報告(平成22年9月分)公表
21日	人口推計(平成22年4月1日現在確定値及び平成22年9月1日現在概算値)公表	〃	サービス産業動向調査(平成22年8月分速報,平成22年5月分確報)公表
〃	「PSI月報(9月)」刊行	29日	労働力調査(基本集計)平成22年9月分,平成22年7〜9月期平均(速報)公表
30日	住民基本台帳人口移動報告(平成22年8月分)公表	〃	消費者物価指数(全国:平成22年9月分,東京都区部:平成22年10月中旬速報値)公表
〃	サービス産業動向調査(平成22年7月分速報,平成22年4月分確報)公表	〃	家計調査(二人以上の世帯:平成22年9月分速報)公表
〃	平成21年全国消費実態調査(単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編:平成22年4〜6月期平均)公表
〃	全国単身世帯収支実態調査(単身世帯の家計収支及び貯蓄・負債に関する結果)公表	〃	小売物価統計調査平成22年9月分(東京都区部:平成22年10月分)公表
10月1日	労働力調査(基本集計)平成22年8月分(速報)公表	この記事引用する場合には、下記にあらかじめ御連絡ください。	
〃	消費者物価指数(全国:平成22年8月分,東京都区部:平成22年9月中旬速報値)公表	<div style="text-align: center;"> <h3>編集発行 総務省統計局</h3> <p>〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1 総務省統計局総務課広報担当 TEL 03-5273-1120 FAX 03-5273-1010 E-mail g-kouhou@soumu.go.jp ホームページ http://www.stat.go.jp/ 御意見・御感想をお待ちしております。</p> </div>	
〃	家計調査(二人以上の世帯:平成22年8月分速報)公表		
〃	小売物価統計調査平成22年8月分(東京都区部:平成22年9月分)公表		
〃			